



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2018年8月7日発行 第4号

8月に入ると季語は「残暑」となります。夏の終わりが近づいていることを表していますが、現実には猛暑が続く毎日です。私が子どもの頃は、夏といえば外で遊ぶことしか考えず、毎日ワクワクしながら友人と遊んだものです。しかし、現代では、この暑さの中で外遊びを推奨することはできなくなりつつあります。遊ぶ範囲が狭まっていることに危機感を覚えます。何故なら、子どもたちは、遊びを通して様々なことを学んでいるからです。その場がなくなっていくことで、少なからずも成長に影響が出ないことを祈るばかりです…。

◎ 本科「合唱コース」の様子を紹介します！

合唱コースでは、「ジュニアコーラス」の名のもと、小学4年生から高校2年生までが一緒になって活動をしています。年齢差があるので苦勞もあろうかと思いつつ訪問すると、心配をよそに受講生達は、生き活きと楽しそうに活動をしている様子がかげえました。どの講座でも見受けられますが、下級生が少し曖昧な態度をしていると、上級生が優しくたしなめたり、教える場面がとても微笑ましく感じました。また、下級生は、上級生の真剣なまなざしに無言の影響を受けていることも肌で感じることができました。まさに、「大人の背中を見て子は育つ」の格言通りの行為が行われている場でした。

合唱の特徴は、音楽の旋律に歌詞があることです。歌う前に歌詞の意味を理解することは言うまでもありませんが、文学的な詩ともなると感覚的な感受性が要求されます。深く理解しなければ歌いこなせなくなるかもしれません…。以前、詩人の方と出雲地域の取材に同行したことがあります。その詩人は、空を見上げ「出雲の雲は、まさに八雲たつ雲の動きがとても特徴的ですね…」とつぶやかれました。私には、いつも見慣れている雲なのですが、「八雲たつ」の深い感覚的な感性をその雲に見いだされたのではないかと想像いたしました。八雲たつは、あまりにも有名な和歌「八雲たつ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」がありますが、一瞬にして連想されたのではないのでしょうか…。雲一つ見る目も鋭い洞察力で物事を読み解き、ストーリーを組み立てていく詩人の創造力に感嘆の声をあげざるを得ませんでした。

そのように、合唱曲には様々な詩人の想いが込められています。演奏者自身はどう読み解き（感じ）どう表現するのか、演奏団体により表現が違ってくるのはここにあるのではないのでしょうか…。まさに芸術の醍醐味がここにもあることに気付かされます。

「ジュニアコーラス」の皆さんは、11月11日（日）に、うら館で開催される、「出雲 Jr.フィル プロムナードコンサート」に向けて、精一杯練習に取り組んでいます。作詞家、作曲家の意思を深く読み込んで、素晴らしい演奏会になることを期待しています。



何事も発声練習から



マエストロによる指導

◎ 好奇心が人生を豊かに！

好奇心は、自ら求めて行動することに意味があります。他人からやらされている感覚だと好奇心は生まれません。このことがやりたいという強い意志が必要です。

その好奇心について、数年前ですが「クラシック音楽館」という番組に出演されていたNHK交響楽団第1コンサートマスターの通称マロさんこと、“篠崎史紀”氏が対談の中で語られていたことがとても印象に残っています。



私は、親から一度も勉強しなさいと言われたことがありませんでした。勉強はしなくてもよいが、好奇心さえ持っていればよいことを繰り返し言われ続けました。

一方で、自分の欠点だけは知っておくことが大切であることを強調され、そのことは、人は自分の欠点を直そうと努力しますが、そもそも欠点なるものは、基本的に直らない者と心得た方がよいのです。自分の欠点さえ知っておけばよくて、直す必要がないとわかれば、気持ちがとても楽になることか…。その労力で長所を伸ばすことに充てればどんどん成長し、長所で欠点をくんでしまえばそれが個性につながるのです。

本アカデミーの受講生の皆さんは、好奇心を持ってそれぞれの講座を受講してくれていることと思います。その好奇心が皆さんの今後の成長に関わってくことを知れば、ますます練習や受講することに身が入るのではないのでしょうか…。本アカデミーで受講していることは、生涯教育にもつながります。たとえ、将来方向転換をしたりプロフェッショナルになれなくても、生涯を通じて豊かな生活に恵まれることは保証できることと思います。

「一芸は身を助ける」ということわざにもあるように、今持っている好奇心を全開され、迷いなく前進されることを期待しています。

◎ 推進委員会を開催しました！

本アカデミーには、17名からなる「推進委員会」があります。目的は、「21世紀出雲芸術文化のまちづくり条例」の基本理念に基づいて設置されています。会議では、本アカデミー事業の運営等について協議し、発展継続に寄与するために様々なご意見をいただく場となっています。



今回の主な議題は、本アカデミーの運営規定の改正及び推進委員会会則の改正が行われた後に、アカデミーの様子をコンパクトにまとめてあるDVD鑑賞をしていただきました。その後の主な意見交換の様子です。＜推進委員の名簿はHPでご覧いただけます＞

◆基盤づくりには出来ることがあれば尽力したい。◆出雲Jr. フィルは、以前聴いた時よりも数段レベルがあがっており素晴らしい。吹奏楽も合唱も盛んだが学校で完結してしまっているため、交流が持てればよいと思う。◆多様な情報発信の必要性を感じる。受講生の背景には親がいるので、FacebookやSNSを使ってスマホでも情報が得られると良いのでは…。◆良い取り組みを行っているので教育委員会としても協力できることがあると思う。受講生が減少している原因を追究して欲しい。◆学校教育だけでは足りないことがあったので、こういう場を設けていただくことはありがたい。等々

様々なご意見をいただき、今後のアカデミー事業に対し、勇気と自信をいただきました。今後、一層の努力と研鑽を高めていきたいと関係者一同心を引き締めてがんばります。

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <http://izumo-zaidan.jp/tag/academy/>】